

新しいくふう

見やすい色の新しい点字ブロック

点字ブロックは、突起と色の両方が大事です。目が少しだけ見えるロービジョンの人（3巻）は、点字ブ

ロックを探してその上を歩こうと思ったとき、ブロックが見わけやすい色だと探しやすくなります。

見やすくて景観にも調和する色

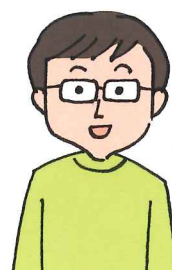
点字ブロックの多くは濃い黄色をしています。色には決まりがないため、まわりの景色に合わせた白や茶色のブロックなどもあります。見た目はおしゃれですが、ロービジョンの人にはどこが点字ブロックなのかわからなくなりがちです。そこで、見わけやすく、景観にも調和しやすい色が開発されました。やや黄緑に近いクールイエローと、ややオレンジに近いウォームイエローの2色で、暗い夕ぐれどきにも見やすいということです。



クールイエロー



ウォームイエロー



点字ブロックが、床の色と同じような色だと、見わけがつかなくてこまってしまうよ。点字ブロックを目立たなくすることは、ぼくが歩ける道がなくなることと同じなんだ。

新しい黄色の点字ブロックはさわやかな色だし、とても見やすいわ。まちの景観にも合うときいてうれしいです。わたしにとって必要なものが、美しくないと思われるのは、やっぱり少し悲しいですから。



突起には丸みがつけられている

開発された新しい点字ブロックの突起の角には丸みがつけてあります。車いすやベビーカー、また、かかとの高いくつでも安全に通れるようにくふうされました。



わたしは車いすに乗っているんだけど、点字ブロックがあると車輪がガタガタしてとても進みにくくてこまっていました。でも、新しい点字ブロックは、突起の角が丸くなっているから、前より進みやすくて助かります。

高齢者・視覚障害者用LED付き音響信号装置

わたしたちは横断歩道をわたるとき、むこう側の信号を見て赤か青か判断します。でも、高齢者やロービジョンの人には、遠くてよく見えないことがあります。

そこで開発されたのがLED付き音響信号装置で、横断歩道の手前に設置されています。

横断歩道の手前で信号を確認

この装置は、だれにでも見やすいLED灯で、赤信号のときは赤い四角、青信号のときは青の円い形に光るため、色でも形でも判断ができます。高さも1mくらいなので子どもや車いす利用者にも確認しやすくなっています。信号の下赤いボタンをおすと青信号の時間を長くすることもできます。



上の面には交差点の名前や方向が点字でも書かれている。信号のすぐ上には「音が鳴りはじめたらわたってください」と点字でも書いてある。青になると上の面が振動して知らせるなど、すべての人が安心してわたれるようになっている。



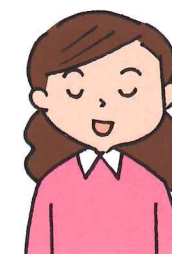
ぼくは色をあまり見わけられないから、信号が赤なのか青なのかわかりにくくてこまっていたんだ。でも、この装置なら、赤か青かを形でも判断できるから助かるよ。しかも円い枠線だけじゃなくて、面ではっきり形が見えるように、明るいLEDの電気が光るのもうれしいな。

上の面に手を置いておくと、青になったときにふるえて知らせてくれるんです。とても安心です。



早朝や夜間にも誘導音を流せる

一般の音響式信号機は、周辺の住民にうるさくないようにと、早朝や夜間には誘導音が鳴りません。この装置は、音響停止時間帯でもボタンをおせば誘導音を流すことができます。また、音が出るスピーカーが耳に近い低い位置についているので、音がききとりやすいのも特徴です。



これまでは、朝や夜は音が流れないタイプの信号機だったから、とてもこわかったの。でも、ボタンをおせば音が流れるこの装置になって、安心してます。